

第1期 小郡寺子屋「志学舎」報告書【第2講座】

開催日 2022年6月25日（土）

- 時間 9:30～16:30
- 場所 小郡市生涯学習センター（小郡市大板井）
- 参加者

■第1期生16名（欠席なし）

■木村 貴志 塾長 / 森 就子（事務局） / 西山 茂代（事務局）

- 内容 第1回経営者講話

- 9:30～10:50 10原則朗唱、入塾式・第1講座の振り返り、レポートの書き方について
- 11:00～12:00 第1回 経営者講話 Morrow珈琲 三宅 淳司 様
- 12:00～13:00 昼食（お弁当）
- 13:00～14:30 経営者講話の振り返り&レポート作成①
- 14:40～16:20 きれいな字を書く・和食のマナー
- 16:20～16:30 1日の振り返り（レポート作成②）



- 座学

【塾長より】遅刻をしないこと。時間はいろいろなものを生み出す。

5分前行動を心掛けること。リーダーは、人一倍早く動いて、人のフォローをする。

- 「話の聴き方」

1. できるだけ話し手の目を見て聞く
2. ほおづえをついたり、腕組みをしたりしない
3. 物音を立てない
4. メモは必要に応じてとる
5. うなずいたり、笑ったり、話し手の心に沿った反応を心がける
6. 質問や感想・意見を言えるように、意識を持って話を聞く

- 自分を磨く方法

- ・嘘をつかない／嘘をつく、人生は重苦しいものになる。
- ・間違いを認める／間違いを犯したことよりも、それにどのように対応するかが大事。
- ・恐怖心と向き合う／恐怖心をなくす方法は、ただひとつ、行動することだ。
- ・自分を信じる／可能性に限界を設けてはいけない。
- ・とにかくやってみる／後退があるとしたら、それは何もしないことだ。

- 入塾式・第1講座の振り返り（塾生レポートを読んで）

【塾生感想】

いろんな考え方があることが分かった

- 小論文の基礎事項（原稿用紙の使い方、表記・表現上の注意）

- ・書き言葉を使う（口語的表現・ら抜き言葉・流行語は、使わない。略語は避ける。）
- ・主語と述語を対応させる
- ・一文の長さは短くする
- ・文体を統一する。論文は「～だ・～である」、塾生レポートは「～です・～ます」で統一。

■経営者講話

○三宅 淳司氏（Morrow珈琲店長、小郡市観光協会副会長、
みい青年会議所副理事長、小郡寺子屋「志学舎」副実行委員長）

幼少期は、進学先や就職先など、その時の自分が見える視野の中での夢を描いていた。社会人になって、化粧品・一般用医薬品等を卸販売する大企業の営業職に就いた。ここで、社会人としての基礎知識、経営面での数値、営業のノウハウ（いかに自分を知ってもらうか、ブランドの戦略、マーケティング、他者との差別化など）を学んだ。

10年働き、コーヒー機器メーカーに転職した先輩をきっかけに、珈琲専門店「伽楽」に出会う。それまで、自身はコーヒーが苦手だったが、淹れ方ひとつでおいしいコーヒーになることに驚きと興味を感じ、また、コーヒー業界の方々の温かさや熱い思いに触れたことで、転職を決断。コーヒーの世界へ飛び込み、「Morrow 珈琲」を立ち上げる。

営業職時代に培った経験を活かし、10年後に目指すゴールを掲げ、1年・1か月・1日でどれぐらい売り上げたいか、具体的な事業計画を作成。現在、店舗を3店舗に拡大、起業から7年目で売上目標を順調に達成している。

人生を変えた言葉は、「あんたは成功する」「人から好かれる」「人生は夢だらけ」「一日一日を楽しく、大切に」。現在、珈琲を介して、幸せを受け取りあっている。売り上げは、お客様からの支持率であり、これからも目標高く目指していきたい。

塾生の皆さんに伝えたいのは、「主体的に生きる」ということ。自分の判断ですべてが起きている。自分を知り、自分の長所を生かして、考えて行動することが大事。先を見越して、未来をチャレンジしてほしい。



【塾生感想】・周りの人が与える影響が大きかったと感じた。自分も周りの人との関係を大事にし、自分が頑張れることをやっていきたい。

【塾生質問】①コーヒーが好きだったほうが良かったと思うことは？

→「苦手」であることが話題になるし、苦手だからこそ、コーヒー嫌いな人が少しでも飲めるようになることにやりがいを感じている。

②支援活動をする理由は？ →地域をもっとよりよくしたい。

③店舗を拡大するときの不安はあったか？

→本店の売り上げをきちんとすることで、支店の売り上げをカバーすることができる。支店が売れるようになるまでの間を支えられるように、本店をちゃんとやるのが大事。

■座学（きれいな字を書く、和食のマナー、お箸のマナー）

○きれいな字を書く：平仮名は文書全体の70%。平仮名が美しく書けるようになると文章自体も美しく見える

○和食のマナー：玄関の上がり方、和室に入るとき（敷居・畳の縁をふまない）、座布団の座り方、座礼の仕方

○お箸のマナー：間違った箸の使い方「さぐり箸」「刺し箸」「迷い箸」「寄せ箸」「渡し箸」「ねぶり箸」等

■本日の振り返り

【塾生の感想】

- ・自分の文字に癖があることが分かった
- ・きれいに書くために気を付けるポイントが結構多かった
- ・いつもお箸を使っているけど、全然マナーを守れてなかったのが、学べてよかった
- ・手に持ってはいけないお皿や、魚はひっくり返してはいけないなど知らないことがいっぱいあった